



月刊労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話{(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番}

96.5.8 No. 4390

危険業務を強制しておき 責任のがれ！

動労千葉申第25号(申入書)に対する回答及び見解

平成8年5月2日
千葉支社

1 前記塗装業務は、安全衛生上問題があると思われる所以、即刻中止されたい。

塗装作業については、作業環境改善を社員自ら行うという5S運動の精神に則って行っているところであり、その作業方法及び安全衛生面については、塗装メーカーから予め指導を受け必要な防護具等を準備し実施したが、現在中断しているところである。

2 塗装作業班には、使い捨てのつなぎ作業着等が着用されている状況から見て、同塗装業務が危険作業であると考えるが見解を明らかにされたい。

作業者の作業性及び作業着の汚損防止等の観点から、専用の作業着を使用したものである。

3 また、塗装作業班のみばかりではなく、同作業班と同時作業をしている交換班についても、マスク等の保護具が適性になされなければならないと考えるが見解を明らかにされたい。

5S運動は、社員の理解と協力を得て初めて成果が得られるものであり、その面で社員の感情や健康を十分配慮した体制を整備していく考えである。

問題 5/2 団交(その2)

水性ペイント発言に謝罪！

二月下旬以降、幕張電車区で行われている交換庫の塗装業務が、有機溶剤を使用した危険業務であったこと(四月二六日・日刊四三八五号既報)について、動労千葉は、申し入れを発出し、五月二日、団体交渉が開催された。千葉支社は、三月に開催された団交の際、「水性ペイントであるから問題はない。」との発言について、謝罪するといつ

たものの、申し入れの回答は、有機溶剤の危険作業について一辺の反省も見られない開き直った回答に終始するという不当な内容であった。

労働安全衛生法をも無視した危険業務に労働者を就かせておきながら、なお反省もしない当局に、追及の手を緩めることなく、怒りを込めて反撃に起しうがろう！

当 三月の団交の際に、不適切な発言(水性ペイントも使用しているので安全上問題ないとの発言)をし、誤解を招いたので謝罪したい。

当 今日は、メーカーの人に指

導をあおいで行ったものであ

のがれはやめてくれ。

の前のことではないか。責任

が取れる。

誰が作業に責任を取るのか

を決定するのは、作業にかか

る以前のことではないか。責任

が取れる。

が取れる。

が取れる。

が取れる。

が取れる。

が取れる。

が取れる。

組 謝罪したいというのであれば、こんな文書回答は出来ないはずだ。労働者を危険業務に就かせ、反省のひとかけらもないと。そもそもこの業務はどういう経過から行おうということになってしまったのか。

当 一月頃、幕張のピットは汚れ、でこぼこしているということで、5S運動の一環として、支社と現場で打合せをして行うこととなつた。

組 その回答では、責任はどちらにあるのか解らない。塗装業務は、最終的に誰が判断しようと行うこととしたのか。

当 ですから支社と現場での打合せで決定した。

組 全上誰が責任を取るのか解らない。今回の業務に最終的に誰が責任を取るのか。

当 そういうことでしたら、会社としてやつたことですので、支社の責任としてやつたこと

です。そこで責任は、運輸部です。

当 今回、メーカーの人に指

導をあおいで行ったものであ

のがれはやめてくれ。

の前のことではないか。責任

が取れる。

作業責任者は、
メークー？

組 危険作業を強制しておきな

がら、何故責任体制を素直に

回答できないのか。そうした

体制に問題があると言わざる

組 その回答では、責任はどちらにあるのか解らない。塗装業務は、最終的に誰が判断しようと行うこととしたのか。

当 ですから支社と現場での打

合せで決定した。

組 そんな曖昧な回答では、安

全上誰が責任を取るのか解ら

ない。今回の業務に最終的に

誰が責任を取るのか。

当 そういうことでしたら、会

社としてやつたことですので、

支社の責任としてやつたこと

です。そこで責任は、運輸部です。

組 いい加減な話はやめてくれ

現場では、塗料の材質につい

て作業班も全く知らされてい

ない。三月二六日に組合から

指摘され、中止になるまでの

間の一ヶ月、有機溶剤と分

つていながら法的な検討を

切に行わなかつたのか。

組 その回答では、責任はどちらにあるのか解らない。塗装業務は、最終的に誰が判断しようと行うこととしたのか。

当 ですから支社と現場での打

合せで決定した。

組 そんな曖昧な回答では、安

全上誰が責任を取るのか解ら

ない。今回の業務に最終的に

誰が責任を取るのか。

当 そういうことでしたら、会

社としてやつたことですので、

支社の責任としてやつたこと

です。そこで責任は、運輸部です。

組 いい加減な話はやめてくれ

現場では、塗料の材質につい

て作業班も全く知らされてい

ない。三月二六日に組合から

指摘され、中止になるまでの

間の一ヶ月、有機溶剤と分

つていながら法的な検討を

切に行わなかつたのか。

受けた。

組 謝罪したいというのであれば、こんな文書回答は出来ないはずだ。労働者を危険業務に就かせ、反省のひとかけらもない。そもそもこの業務はどういう経過から行おうということになつたのか。

当 一月頃、幕張のピットは汚

れ、でこぼこしているといふこと

になつたのか。

組 その回答では、責任はどち

らにあるのか解らない。塗装

業務は、最終的に誰が判断し

うこととなつた。

組 その回答では、責任はどち

らあるのか解らない。塗装

業務は、最終的に誰が判断し

<p